

県医師会理事会記事

令和元年度第42回常任理事会

(令和2年2月12日)

平松会長 挨拶



皆さま、こんばんは。これはまた報告されるでしょうが、先ほど広島県から医療関係予算の説明を各課長さんからいただきました。あの資料を見ますとすごいボリュームでありました。

県にはそれぞれ専門の課がありまして、その課長さんにはまた専門の部下がいて、あれだけの多さ、密度の濃さの諸事業にわれわれ医師会も対応してやっているのだと改めて感じ入りました。われながらと申しますか、医師会の力も凄いのですが、県行政も大変な事業をしているのだと実感しまして、今更ながらわれわれの責任が重大であると認識したところであります。そういう意味で今日も頑張ってまいりましょう。よろしくお祈りします。

協議事項

- ・市郡地区医師会主催学会等の日本医師会生涯教育講座認定申請の件 (山田常任理事)
令和元年度 16件、令和2年度 2件、原案どおりすべて承認
- ・広島医史学研究会副会長推薦の件 (水野常任理事)
豊田副会長の推薦を承認
- ・令和2年度体力測定診断事業の支援スタッフ推薦の件 (三宅常任理事)
3名の会員の推薦を承認
- ・令和元年度補正予算(案)・令和2年度収支予算(案)の件 (小笠原常任理事)
両案を確認とし次回再協議
- ・講演会補助金の件 (小笠原常任理事)
呉市 医療保険研修会、福山市 第2回ACP推進協力員(ACPメイト)研修会、第2回災害対策委員会内企画研修会、安佐 富士川游顕彰事業特別講演会の4件の補助を承認
- ・広島交響楽協会法人会費納入の件 (小笠原常任理事)
会費納入を承認

- ・第18回広島国際アニメーションフェスティバル協賛の件 (小笠原常任理事)
協賛を承認
- ・第5回広島医史学研究会・岡山医学史研究会合同学術集会補助金の件 (小笠原常任理事)
補助を承認
- ・保育サポーターバンク事業各種保険加入の件 (國田常任理事)
子ども傷害保険・レクリエーション保険(研修会)の保険加入を承認
- ・HMネット発注の件 (藤井常任理事)
最適業者へICT活用に関するアンケート調査の発注を承認
- ・第23回IPPNW世界大会(ケニア、モンバサ)の件 (山崎正弘常任理事)
役員の参加希望を受け付けることを承認
- ・RCC終活博覧会後援の件 (水野常任理事)
後援を承認
- ・役職員出張申請の件 (水野常任理事)
原案どおりすべて承認
- ・IPPNW(JPPNW)後援の件 (平松会長)
内容を確認することとし継続審議

報告事項

- ・2月2日、今村定臣先生旭日小綬章受章祝賀会 (平松会長)
出席しお祝いの挨拶を述べた。
- ・2月3日、令和元年度第2回広島県国民健康保険運営協議会 (平松会長)
令和2年度国保事業費納付金および市町村標準保険料率に係る算定結果、特別会計当初予算(案)などについて協議した。
- ・2月4日、令和元年度第2回広島県医療審議会医療法人部会 (平松会長・豊田副会長)
設立13件、解散4件、理事長特例認可1件を協議した。
- ・2月6日、読売新聞第48回医療功労賞広島県表彰式 (平松会長)
出席し祝辞を述べた。
- ・2月7日、第98回広島県薬事審議会(平松会長)
広島県におけるかかりつけ薬剤師・薬局推進に向けたアクションプラン(案)について協議した。
- ・1月30日、令和元年度広島県相談機関ネットワーク会議 (森常任理事)
「当事者が求めた不登校対応」と題した講演および、不登校等児童生徒を支援している民間団体などに関する調査結果の説明などがあった。

・2月1日～2日、令和元年度日本医師会医療情報システム協議会 (藤井常任理事)

今年度は香川県医師会の担当により開催された。今年のメインテーマは「進化する医療ICT」と題し、6つのセッション、26の講演が行われ、2日間で469名が参加した。来年度は群馬県医師会の担当により、令和3年3月6日(土)、7日(日)、日本医師会館にて開催する。

・2月1日、第31回広島スポーツ医学研究会 (三宅常任理事)

一般演題13題、「野球選手の動作分析から望ましいジュニア期の指導に関して」と題し、筑波大学体育系の川村卓准教授により特別講演を行った。出席者は医師48名を含む、理学療法士、看護師、鍼灸師、栄養士、言語聴覚士、柔道整復師、学生など計90名であった。

・2月2日、令和元年度かかりつけ医認知症対応力向上研修 (山崎正数常任理事)

本研修は、厚生労働省が推進する【新オレンジプラン】に掲げられている人材育成に係る取り組みの一環として、広島県からの委託を受け、地域医療を担うかかりつけ医を対象に例年開催している。今年度も認知症に係る診断・治療および医療・介護連携の重要性などについて講義を行い、97名が標記研修を修了した。なお、新規研修終了者には広島県より修了証書が授与され、同意が得られた場合は、オレンジドクターに認定するとともに広島県HPへ掲載された。

・2月3日、令和元年度広島県若年性認知症支援ネットワーク会議 (山崎正数常任理事)

令和元年度広島県若年性認知症施策総合推進事業実施状況および、広島県若年性認知症支援ネットワーク会議の運営について協議した。

・2月3日、令和元年度第2回広島県発達障害児・者医療支援体制に係る検討会 (森・渡邊両常任理事)

今年度行われた発達障害児・者診療医養成研修の報告が行われた。また、県外への医師派遣に参加した医師からの研修報告があった。次年度の研修会の内容等も協議し、今年度と同様の4回開催のプログラムとすることとした。

・2月3日、広島少年院視察委員会第5回会議 (國田常任理事)

今回は広島少年院で開催、新委員の紹介、投書箱の確認、年間報告書案の検討、面談を行った。

・2月3日、審査委員(内科系)・広島県医師会合同会議 (大谷常任理事)

社会保険診療報酬支払基金広島支部および

広島県国民健康保険団体連合会の診療報酬審査委員(内科系)と、近年の保険請求上の諸問題などについて意見交換を行うことなどを目的に、標記合同会議を開催した。

・2月4日、第43回広島地方裁判所委員会 (山崎正数常任理事)

簡易裁判所手続きの説明があり、調停がどのように行われるかのロールプレイがあり、その後利用促進について協議が行われた。

・2月5日、がん教育外部講師研修会(森常任理事)

今年度より県内ではじまった外部講師を活用したがん教育が円滑に実施されることを目的に企画した。今年度の外部講師の派遣事業における事後報告や次年度の体制に関する説明、外部講師実践者からの講演を行った。

・2月5日、令和元年度防災訓練(災害時情報通信訓練)南海トラフ大震災想定訓練(山田常任理事)

通信衛星やさまざまなハードやソフトの情報共有手段を用いた情報通信訓練が、紀伊半島沖で発生した東南海地震(南海大震災)を想定し、発災～3ヵ月目までの医師会として取るべき対応を要点を辿りながら行われ、本会はTV会議を聴講する形で参加した。

・2月5日、全国がん登録届出票書き方説明会(福山会場) (三宅常任理事)

「がん登録等の推進に関する法律」(平成28年1月施行)によりすべての病院に届出が義務づけられている。全国がん登録について正しく理解し、入力および届出などの実務を円滑に実施するため開催した。参加者は24名であった。

・2月6日、令和元年度第6回介護サービス苦情処理委員会(国保連合会) (大谷常任理事)

苦情申立2件、相談事例(12月、1月受付分)について協議した。

・2月6日、令和元年度第2回広島県留置施設視察委員会 (山崎正弘常任理事)

令和元年度の広島県留置施設視察委員会活動報告として、全6回の視察で県下の11留置施設を2人1組で視察したこと、会議は6月、2月の2回開催されたことが報告された。また、委員会からの意見・要望に対する措置状況が報告された。委員会事務局からの情報提供として、1)留置施設委員会委員は令和2年度から任期が年度ごととなり、任命時期は4月になること、2)今後留置施設の再編整備が検討されていることが報告された。

・2月7日、地対協 在宅医療・介護連携推進専門委員会ACP普及促進WG第3回作業部会

(小笠原常任理事)

ACP説明ツールとポスターの作成にあたり、内容を確認後、使用申請およびHP掲載方法について協議した。また、広島県より主任介護支援専門員に実施した在宅医療・介護連携に関するアンケート集計結果および、在宅医療に係る医療機能など調査におけるACPの実践状況について報告があった。

・2月7日、院内事故調査委員会(渡邊常任理事)

医療機関にて開催された院内事故調査委員会に、オブザーバーとして参加した。

・2月7日、報道との懇談会 (岩崎常任理事)

報道関係者9名と広島県医師会常任理事および広報委員が意見交換を行った。桑原副会長より、「地域医療構想と病院再編」「新型コロナウイルス」に関しての話題提供があり、各テーブルで意見交換が行われた。

・2月6日、第1回選挙管理委員会 (事務局長)

会長候補理事の選任(第127回臨時代議員会)、議長・副議長の選定、役員(理事および監事)ならびに裁定委員の選任(第128回定時代議員会)、日本医師会代議員および同予備代議員の選任(第129回臨時代議員会)に向け、第1回目の選挙管理委員会を開催した。それぞれの選定・選任に関し、期日の公示、立候補届締切日、それに伴う選挙管理委員会開催日程などの全体スケジュールを確認・決定した。

・委員会委員(子育て支援事業運営委員会)

(國田常任理事)

委員会委員を報告した。

・委員会委員(医事紛争委員会)

(西野常任理事)

委員会委員を報告した。

・2月7日、新型コロナウイルス感染症のプレスリリース (森常任理事)

2月7日(金)からの「帰国者・接触者外来」が設置された。また、同時に、1月29日(水)から保健所に設置している相談窓口について、感染の疑いのある人を「帰国者・接触者外来」へ誘導する機能が付加された。

・令和元年度公衆衛生事業功労者の厚生労働大臣表彰 (水野常任理事)

広島県医務課より「令和元年度公衆衛生事業功労者の厚生労働大臣表彰」に会員1名の受賞が決定した旨の通知があった。

・令和元年度医師の医療功労に対する知事表彰(水野常任理事)

広島県医務課より「令和元年度医師の医療功労に対する知事表彰」に会員5名の受賞が決定した旨の通知があった。

令和元年度第43回常任理事会

(令和2年2月18日)

平松会長 挨拶

皆さま、こんばんは。最近新型コロナウイルスの話についてなのですが、まだ広島県は直撃を受けていないということでホッとしているところですが、これは時間の問題ではないかなと思っております。

各地でいろんな会合が次々とキャンセルしているということもございまして、特に日本医師会の会合で、新型コロナウイルスの感染が拡散したということはあってはならないことであります。

先日、京橋川沿いを歩いておられますと、ある先生夫妻にお会いしまして、県医師会とも密接な方ですけれども、京橋川沿いで一番良い所で、春になれば花がいっぱい咲いて、以前話しましたヘチマの黄色い花もいっぱい咲くところなのです。しかしこの季節ですから何も咲いていません。その先生は私の会長挨拶を読んで京橋川に行ってみたくなったということでありました。

私はこの京橋川沿いは将来100年後も、おそらくは市内でも最も素晴らしい河畔として広島市民に親しまれていると思います。皆さんも行けば分かると思いますが、今でもかなり大きな楠がたくさんありますが100年後はおそらく直径が1m近い大木になっているだろうと思います。西岸から川を眺めると川の幅も広く対岸の比治山の緑と溶け合う素晴らしい風景なのです。そんな100年後の京橋川河畔を想像しながら歩いております。

最近はやがて眠れない時があり、いつの間にか3時4時になって、しかたないので英英辞典で3つ4つの英語の単語を覚えて後は本を読みます。

実は前にも話しましたが、文化功労者となった小林秀雄(1902-1983)という評論家がおられます。彼の文章は非常に難解で理解できないところが私には悔しいのです。それで悔しいからまた読み直していくのですが、読んでいてこれは皆さんに知っておいてもらいたいと思うことがありました。

彼は文化功労者なのですが、小林秀雄全集17の「文化」についてのところで日本語の「文化」は英語ではCultureと言いますが、Cultureは栽培するという意味もありまして、何となく言葉の意味が語感として匂って来るような気がします。この訳語「文化(教養とも訳すが)」という言葉は、誰がどんな意味で「文化」と訳したのか、全く何が何やらわからなくなったと彼は述べています。彼によれば文化とは単なる観念ではなくて寧ろ物だ。どんなに多くの教養を外部から取り入れても、それがもし僕の素質を育てないならば僕を教養人、文化人とはいえない。だからある人間の素質、個性というものの、向上に関する信念が先ずなければ文化をうんぬんしても無意味である。精神がその対象を材料として何か新しい価値ある形を創出した場合でなければ文化という言葉は意味をなさない。文化とは精神による価値ある実物の生産である。

彼によると「文化」という言葉は昔から中国にあり、「武力によらず民を教化する」ということ。そう聞くと中国の「文化大革命」の意味も分かる気がします。日本の「文化」という言葉の意味は、その文化という文字からは浮かび上がってこない、その「文化」という言葉を貶した小林秀雄が文化功労者となっているとは皮肉なものだと思いました。

腹を立てることも良いことで、眠れないと私は本を読むことにしているので、お陰で今回は「文化」という言葉のルーツを知りました。「文化」の意味が分かって眼が覚めたということで、今日の挨拶にしておきます。

協議事項

- ・市郡地区医師会主催学会等の日本医師会生涯教育講座認定申請の件 (西野常任理事)
令和元年度17件、令和2年度2件、原案どおりすべて承認
- ・第25回ひろしまナイチンゲール賞(知事表彰)被表彰候補者推薦の件 (水野常任理事)
会員1名の推薦を承認
- ・弁護士法による資格審査会・懲戒委員会委員推薦の件 (水野常任理事)
資格審査委員会：桑原副会長、予備委員：水野常任理事、懲戒委員会委員：津谷副会長、予備委員：小笠原常任理事の推薦を承認
- ・令和元年度広島県医療安全研修会講師派遣の件 (水野常任理事)
渡邊常任理事の派遣を承認

- ・令和元年度事業報告(4月～12月)・補正予算(案)、令和2年度収支予算(案)の件 (水野・小笠原両常任理事)
双方の予算案を承認
- ・講演会補助金の件 (小笠原常任理事)
呉市 医療保険研修会、福山市 予防接種啓発講演会の2件の補助を承認
- ・HMネット発注の件 (藤井常任理事)
原案どおり福山医療センター診療情報開示システム導入、TV会議システムライセンスの2件の発注を承認
- ・医事紛争委員会電子ファイル保管用サーバー等のリプレースの件 (西野常任理事)
リプレースを承認
- ・第39回家族の会大会・認知症問題を考える講演会後援の件 (水野常任理事)
後援を承認
- ・役員出張申請の件 (水野常任理事)
原案どおりすべて承認
- ・第23回IPPNW世界大会の件 (山崎正弘常任理事)
引き続き出席者を確認
- ・2月27日、福山市・松永沼隈地区・深安地区・府中地区医師会と広島県医師会との合同理事会開催可否の件 (水野常任理事)
各地区医師会に確認することとするが現状では開催とし、質問は各担当理事に回答することで承認

報告事項

- ・2月8日、安芸地区医師会と広島県医師会との合同理事会 (平松会長)
安芸地区医師会から提出された「教職員保健管理担当医」「医師会館の駐車料金」など4議題について担当役員が回答し、本会からは、「苦情相談事例集」「広島県腫瘍登録事業」「県立学校における保健管理医」「保育サポーターバンク事業」「ひろしま医療情報ネットワーク」などの件について報告した。
- ・2月9日、広島県腎友会市民公開講座(平松会長)
出席し来賓祝辞を述べた。
- ・2月13日、尾道市医師会・三原市医師会・因島医師会・世羅郡医師会と広島県医師会との合同理事会 (平松会長)
尾道市医師会から提出された議題「尾道市医師会看護専門学校及び准看護学院の現状」について担当役員が回答し、本会からは、「苦情相談事例集」「広島県腫瘍登録事業」「県立

- 学校における保健管理医」「保育サポーターバンク事業」「ひろしま医療情報ネットワーク」などについて報告した。
- ・2月14日、令和元年度第3回医療政策研修会及び第3回地域医療構想アドバイザー会議
(桑原副会長・中西常任理事)
当面の地域医療構想などの推進に向けた取り組み、医師の働き方改革について報告があり、午後から地域医療構想と医師確保に分かれ事例報告などが行われた。
 - ・2月14日、日本医師会 第6回予防接種・感染症危機管理対策委員会 (桑原副会長)
予防接種・感染症をめぐる最近の動向、新型コロナウイルス感染症、HPVワクチンなどについて協議した。
 - ・2月14日、広島拘置所地域医療協議会 (津谷副会長)
施設概況説明、所内視察、広島拘置所の医療状況などがあった。
 - ・2月6日、令和元年度死亡診断書・死体検案書作成研修会 (広島会場) (大本常任理事)
地域の検案業務における検案医の養成や協力医の確保などを目的に標記研修会を開催した。「死亡診断書」と「死体検案書」の正しい書き方について、広島大学医系科学研究科法医学教授の長尾正崇先生より講義いただいた。受講者は15名。
 - ・2月7日、公立病院減床補助金活用対策勉強会 (中西常任理事)
基調講演「提言～赤穂市民病院の独立行政法人化と30%の病床削減～」があり、その他の講演が3題あった。
 - ・2月7日、広島県配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する基本計画(第3次)検討会 (國田常任理事)
広島県配偶者からの暴力の防止および被害者の保護などに関する第3次基本計画の中間報告(達成状況の報告)とDV防止標語の選定を行った。
 - ・2月10日、令和元年度第2回広島県障害者自立支援協議会医療的ケア児支援部会 (森常任理事)
本年度、医療型短期入所施設を県内2ヵ所追加、医療的ケア児らコーディネーター養成研修を実施。医療的ケア児の実態調査は来年度も継続。来年度は医療的ケア児ら支援者のネットワーク化、医療的ケア児ら支援者の人材育成など予定。
 - ・2月11日、令和元年度都道府県医師会「警察活動に協力する医師の部会(仮称)」連絡協議会・学術大会 (大本常任理事)
死体検案に係る研修の充実、人材の確保を図るとともに、警察の検視などへの立会い、大規模災害時の派遣体制としての警察活動に協力する医師の全国組織化、各都道府県医師会の相互連携と、日本医師会および関係省庁との情報共有を図ることを目的として、標記会が開催された。
 - ・2月12日、令和元年度第5回広島拘置所視察委員会 (山崎正数常任理事)
前回委員会以降の行事報告後、意見箱の内容を確認し、委員会が提出する意見書案を検討した。併せて、新型コロナウイルス対策指示の共有を行った。
 - ・2月12日、令和元年度第2回地域包括ケア強化推進検討委員会 (大本常任理事)
地域包括ケアシステムの強化推進と広島県地域ケア推進センター事業の推進について、地域包括ケアシステムの評価指標の見直しと、地域包括ケアシステムに係る安心感を測る指標の選定、地域包括ケアシステムのコアコンセプトについて協議した。
 - ・2月14日、学校医部会第2回会議 (森常任理事)
学校保健に関する専門的な検討を行う場として、各関係医会ならびに各関係検討会委員長を中心に部会を設置している。各検討会などの関係会議・研修会などの報告をするとともに、今年度、市町教育委員会へ行ったアンケート結果やそのほか学校保健に関する情報提供を行った。
 - ・2月14日、審査委員(外科系)・広島県医師会合同会議 (大谷常任理事)
社会保険診療報酬支払基金広島支部および広島県国民健康保険団体連合会の診療報酬審査委員(外科系)と、近年の保険請求上の諸問題などについて意見交換を行うことなどを目的に、標記合同会議を開催した。
 - ・3月1日、広島県診療放射線技師会70周年記念式典 (水野常任理事)
山崎常任理事が会長挨拶を代読することとした。
 - ・3月3日、第2回市郡地区医師会長協議会 (水野常任理事)
報告・協議事項など事務局にて受付。
 - ・3月28日、第146回日本医師会臨時代議員会質問 (水野常任理事)
当県からの質問は、なしと回答したことを報告した。